

「小松商工会議所景気見通し調査」

結果報告書

調査期間 令和 5 年 3 月

小 松 商 工 会 議 所

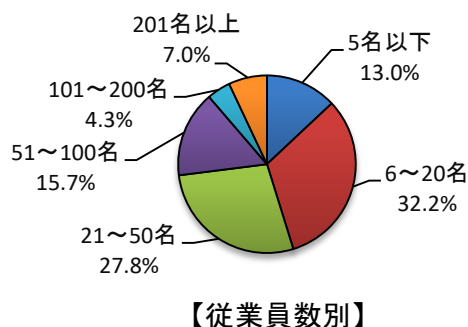
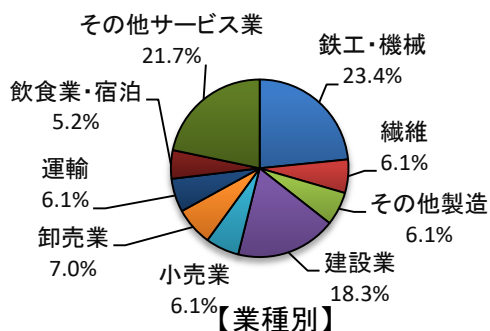
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 224社

回答企業数 115企業（回答率 51.3%）

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
製造業	鉄工・機械		2	9	7	3	6	27
	繊維	1	1	3	2			7
	その他製造	1	3	1	1	1		7
建設業		2	10	8	1			21
小売業		2	2		3			7
卸売業		1	4	2		1		8
サービス業	運輸		2	2	3			7
	飲食業・宿泊	3	2	1				6
	その他サービス業	5	11	6	1		2	25
合計		15	37	32	18	5	8	115



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※D I 値 ……D. I(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 …… 令和4年度第3四半期(令和4年10月～12月)

今 期 …… 令和4年度第4四半期(令和5年1月～3月、但し3月は見込み)

来 期 …… 令和5年度第1四半期(令和5年4月～6月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景 況 感 …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高 …… DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価 …… DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好調	1	3	1	2	1	1	5	2	1	2	4	4	10	9
不変	19	17	4	3	4	4	13	13	4	3	3	2	22	22
悪化	7	7	2	2	2	2	3	6	2	2	1	2	5	5
無回答													1	2
総計	27		7		7		21		7		8		38	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

【今期：好転の理由】

建設機械は引続き好調（鉄工・機械）
コロナ禍が落ち着いたこと。SNS に対してアクセスが増え反響が大きいこと（繊維）
年度末に関わる注文が増えた（その他製造）
公共工事受注増（建設業）
公共工事(災害関係)の増加（建設業）
大型物件の受注による（建設業）
物価高による全ての経費上昇と客単価は上がっても買い方が少ない（小売業）
コロナ禍から着実に復活しているように思う（卸売業）
コロナも落ち着き外に出る事に抵抗がなくなっているように感じる（卸売業）
期末を迎え需要は好調（運輸）
コロナによる行動制限が無くなったため（飲食業・宿泊）
昨年等コロナ禍より売上が増加しているため（飲食業・宿泊）
2月まで今までと変わらない感じだったが、3月に予約UP（飲食業・宿泊）
工事関係の増加（その他サービス業）
販売(台数)が上がった（その他サービス業）
防災商品の売上UP（その他サービス業）
官公庁からの発注増（その他サービス業）

【今期：不変の理由】

今年度通期で高操業継続、大幅な変動がない（鉄工・機械）
足元の生産計画は前期と不変（鉄工・機械）
若干の変動はあるが概ね昨年と変動はない（鉄工・機械）
客先の好調が継続するため（鉄工・機械）
ガス・電気エネルギーの値上げがどこまで行くのか分からないので未定（鉄工・機械）
昨年同時期と比較して、受注・売上とも増加であるが、染色代金、エネルギー、原材料価格の値上げで利益は減少傾向（繊維）
電力料金の高騰（繊維）
自動車生産が半導体不足によりなかなか復調しない（繊維）
工事受注高は低迷することなく上昇にある（建設業）
大きく変化はないが受注単価は下がった（建設業）
ビルリフォーム受注見込める（建設業）
官公庁工事発注状況については特に変わりなし（建設業）

政府の激変緩和措置による石油製品(燃料油のみ)価格の安定化 (小売業)
動きにあまり変化なし (卸売業)
仕入れ単価、加工賃等、値上がりばかり (卸売業)
コマツの動向と同じ (運輸)
コロナの影響が少なくなってきたため (飲食業・宿泊)
物価高の影響を受け、まだ売上げ、利益共に向上していない (その他サービス業)
ユーザーの商品購入が減少している (その他サービス業)
予断を許さない状況だが、何とか現状維持といった感じだ (その他サービス業)
航空旅客の回復が続いている (その他サービス業)
現状が普通という認識になったため(業界の雰囲気) (その他サービス業)
やや好転 (その他サービス業)
大きな変化は見られない (その他サービス業)

【今期：悪化の理由】

車の生産が落ちていて工作機械等も落ちている (鉄工・機械)
バス関係は生産ラインが止まる等、他事業は不変 (鉄工・機械)
得意先がまだ好調を維持しているため (鉄工・機械)
主要取引先の生産状況変更に伴うものであるが、まだ顕著な落ち込みはない (鉄工・機械)
物価高騰の影響が出始めた。人手不足で部品の供給が追いつかず減産している (鉄工・機械)
原材料・燃料費・電気代の高騰 (鉄工・機械)
原材料その他の大幅な値上り (その他製造)
建物の建設予定が少ない (建設業)
コロナ環境での好転感覚はあるなかで、単価が低調のままである一季節需要的な要因もある (小売業)
物量の減少は著しい (運輸)
冬期は、観光需要は低下 (運輸)
コロナの影響がある (その他サービス業)

【来期：好転の理由】

4月からバス生産開始 (鉄工・機械)
受注が増えたが人手が足りなくなった (繊維)
1-3月が悪すぎるので自然と好転するだけだが、値上げ交渉も鋭意行っており、単価アップは見込める (繊維)
値上げを受け入れて頂ける (その他製造)
工事受注高は低迷することなく上昇にある (建設業)
売上があがるとも、原材料高や人手不足で厳しい状態が続くと思う (卸売業)
コロナ分類が2類から5類へ。規制の緩和 (卸売業)
コロナ対策の緩和で上昇 (運輸)
数か月先のオーダーがいつもより多い (運輸)
コロナによる行動制限が無くなったため (飲食業・宿泊)
いよいよコロナが明けてうれしい (飲食業・宿泊)
外食などの規制がなくなったから (飲食業・宿泊)
官公庁からの発注増の要因がない (その他サービス業)
コロナの影響が春先に収まってくれば (その他サービス業)
続く予感 (その他サービス業)

【来期：不変の理由】

悪化になるのかも未定（鉄工・機械）
海外のインフレ・利上げによる景気減速懸念（鉄工・機械）
価格の見直しの検討（鉄工・機械）
設備投資含め稼働を想定して全体平均では不変と思われる（鉄工・機械）
来期4月より労務費による価格見直し予定であり、その影響である（鉄工・機械）
来期の受注状況は不透明感があるが大きな落ち込みはないと考える（鉄工・機械）
客先の好調が継続するため（鉄工・機械）
例年の傾向を踏まえて（鉄工・機械）
昨年同時期と比較して、受注・売上とも増加であるが、染色代金、エネルギー、原材料価格の値上げで利益は減少傾向（繊維）
ビルリフォーム受注見込める（建設業）
官公庁工事発注状況については特に変わりなし（建設業）
特に変化はないと思われる為（建設業）
政府の激変緩和措置による石油製品(燃料油のみ)価格の安定化（小売業）
コロナも落ち着きコロナ前に戻ったように思うが、物価の上昇により抑えられる部分もあり、あまり変わらないのではないか（卸売業）
原材料費、加工賃等の値上げもそろそろ落ち着くことを願う（卸売業）
業種上、一ヶ月先程度の予約が中心なので四半期は判定しにくい（飲食業・宿泊）
今の所、未知数である（その他サービス業）
見通しが立たない（その他サービス業）
顧客の高齢化（その他サービス業）
今期の販売(台数)が上がった理由が分からない（その他サービス業）
現状が普通という認識になったため(業界の雰囲気)（その他サービス業）
引き続き航空旅客の回復が継続する見込（その他サービス業）
基本的に大きな変化が生じていない（その他サービス業）
大きな変化は見られない（その他サービス業）

【来期：悪化の理由】

材料、エネルギーコストの上昇（鉄工・機械）
第一四半期は落ちるが第二四半期以後はわからない（鉄工・機械）
得意先の景況感が鈍化することが見込まれるため（鉄工・機械）
非常に不透明。米国次第の感がある（鉄工・機械）
不透明感が強い（鉄工・機械）
電力料金の更なる高騰 及び 製造コスト上昇に伴う販売不振が想定される（繊維）
欧米の消費が悪化している（繊維）
時期的に、年度初めは例年売上が少ないため（その他製造）
公共工事発注減少予想（建設業）
建物の建設予定が少ない（建設業）
大型物件受注の反動（建設業）
顧客の減少（小売業）
主力販売先の生産台数が若干落ちる（卸売業）
期首は低調（運輸）
今後も回復するとは思えない（運輸）

(1)-2 DI値

(単位:DI)

		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	23.1	▲ 22.2	▲ 14.8
	繊維	0.0	▲ 14.3	0.0
	その他製造	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 14.3
	製造計	9.8	▲ 19.5	▲ 12.2
非製造業	建設業	17.6	9.5	▲ 19.0
	小売業	0.0	▲ 14.3	0.0
	卸売業	20.0	37.5	25.0
	サービス業(運輸含む)	2.9	13.5	11.1
	非製造計	9.1	12.3	2.8
全 体		9.3	0.9	▲ 2.7
改善予測		▲ 18.6	▲ 3.6	—

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

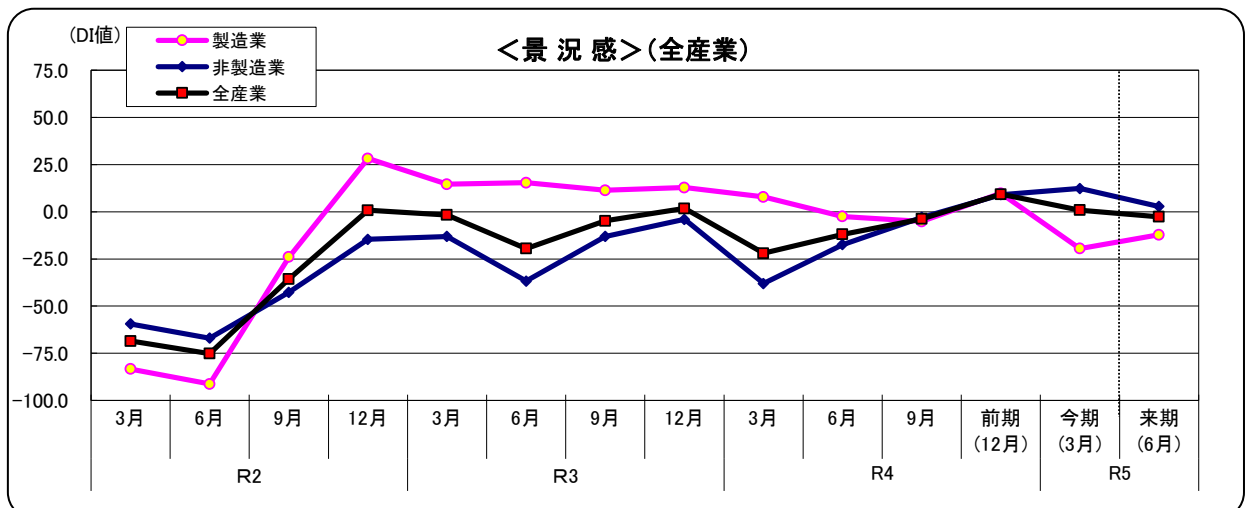
製造業においては、前期 23.1 ポイントと高い数値であった鉄工・機械が、今期▲ 22.2 ポイントと大きく下降した。来期も ▲ 14.8 ポイントとマイナスが続く見通しである。繊維は、前期 0.0 ポイントから、今期 ▲ 14.3 ポイントと下降したが、来期は、0.0 ポイントと持ち直す見通しである。その他製造は、前期 ▲ 25.0 ポイント、今期・来期ともに ▲ 14.3 ポイントと、低迷が続く見通しである。

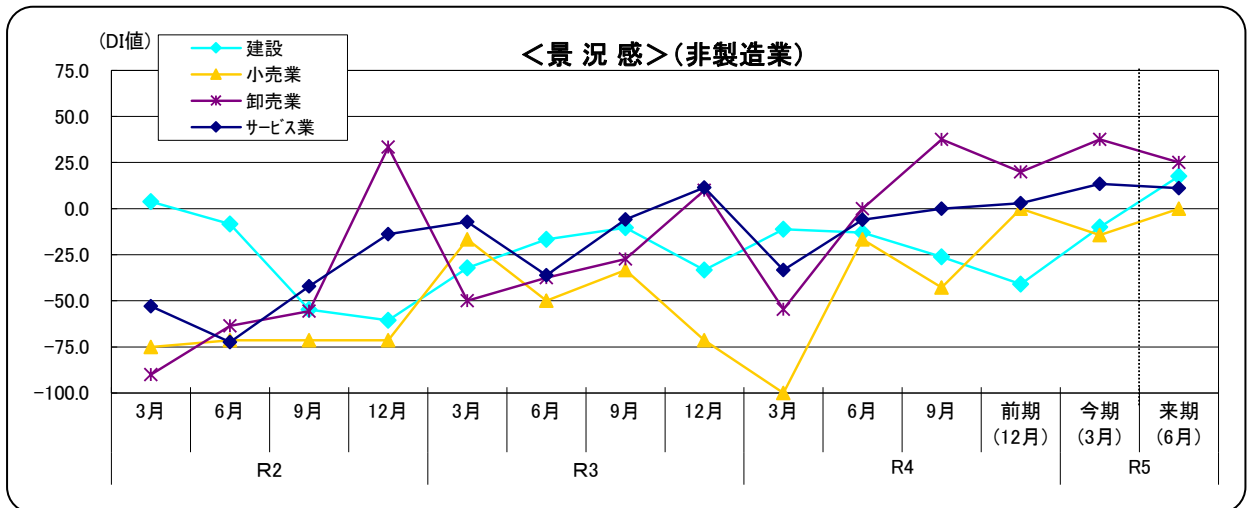
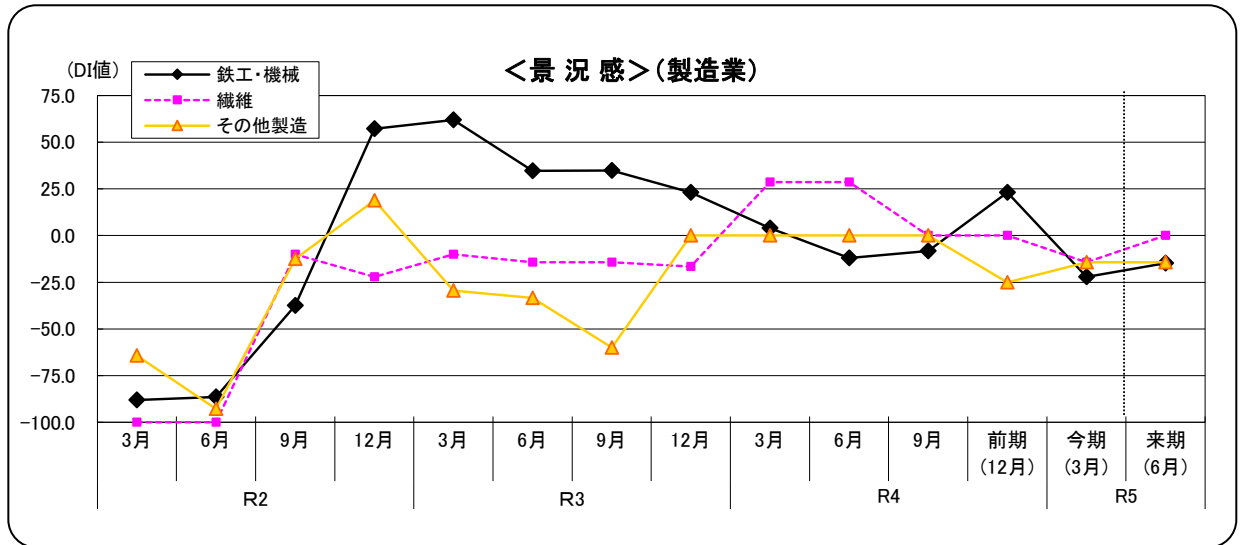
非製造業においては、建設業が、前期 17.6 ポイント、今期 9.5 ポイント。小売業は、前期 0.0 ポイント、今期 ▲ 14.3 ポイント。卸売業が、前期 20.0 ポイント、今期 37.5 ポイント。サービス業が、前期 2.9 ポイント、今期 13.5 ポイント。非製造業全体では、前期 9.1 ポイント、今期 12.3 ポイントと改善傾向がみられるが、来期は鈍化する見通しである。

全体については、前期 9.3 ポイント、今期 0.9 ポイント、来期 ▲ 2.7 ポイントと緩やかに下降すると予想される。

5月よりコロナが2類から5類へ移行されるなど、ビヨンドコロナへと明るい兆しが見えてきた一方、円安、原材料高騰、電気料等の値上げなど多くの問題を抱え、価格転嫁も追いついていない状態にあり、厳しい経営環境にある。さらに賃上げ気運の高まりもあり、人材不足に悩む中小企業は頭を悩ませる状況にある。

(1)-3 年次別の推移





※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(単位:DI)

区分	今期(R5.3)			来期(R5.6)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 19.5	▲ 2	▲ 4	▼ ▲ 12.2	▼ ▲ 10	▼ ▲ 3	41社
非製造業	12.3	6	12	▼ 2.8	▼ 0	▼ 6	74社
全体	0.9	3	5	▼ ▲ 2.7	▼ ▲ 4	▼ 2	115社

(1)－(5) 景況感、売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和4年度第4四半期)の状況

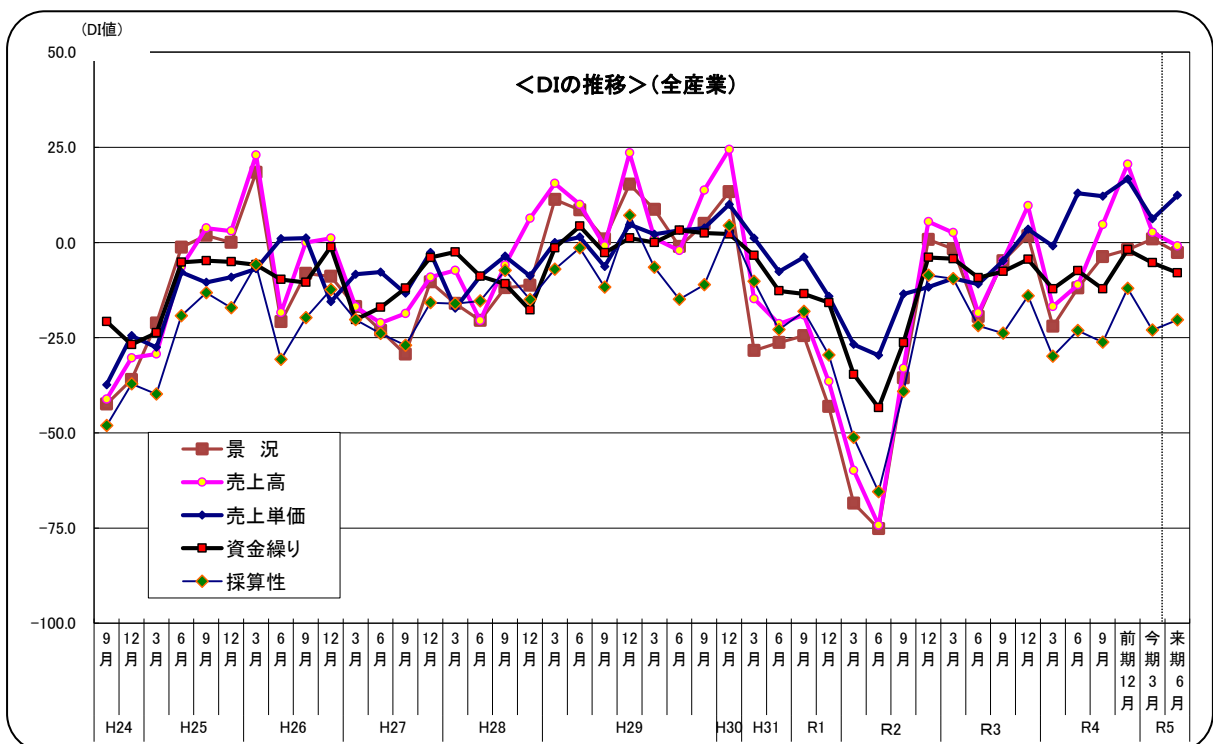
(単位:DI)

	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	▲ 22.2	▲ 11.1	7.4	▲ 3.7	▲ 14.8
繊維	▲ 14.3	▲ 14.3	28.6	▲ 28.6	▲ 71.4
その他製造	▲ 14.3	0.0	28.6	0.0	▲ 28.6
建設業	9.5	0.0	▲ 9.5	4.8	▲ 23.8
小売業	▲ 14.3	▲ 28.6	28.6	0.0	▲ 28.6
卸売業	37.5	25.0	25.0	0.0	▲ 37.5
サービス業	13.5	18.9	▲ 2.8	▲ 11.1	▲ 13.9
全体	0.9	2.6	6.2	▲ 5.3	▲ 23.0

来期(令和5年度第1四半期)の見通

(単位:DI)

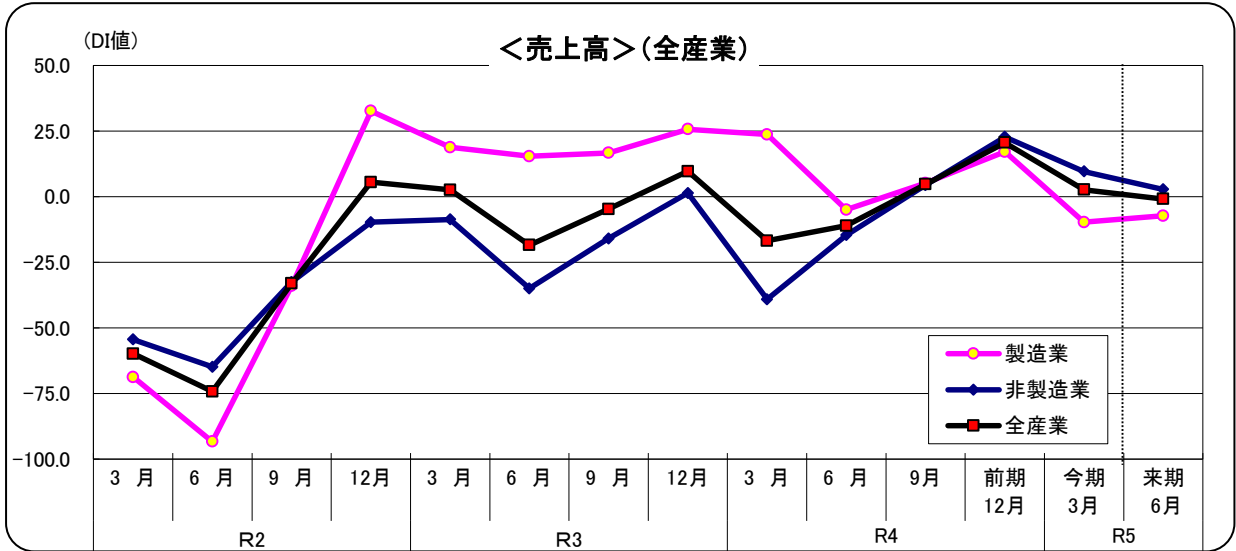
業種	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	▲ 14.8	▲ 7.4	29.6	▲ 3.7	▲ 14.8
繊維	0.0	0.0	42.9	▲ 28.6	▲ 42.9
その他製造	▲ 14.3	▲ 14.3	28.6	▲ 14.3	▲ 42.9
建設業	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 14.3	▲ 33.3
小売業	0.0	0.0	0.0	▲ 42.9	▲ 28.6
卸売業	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0
サービス業	11.1	11.1	8.3	2.8	▲ 11.1
全体	▲ 2.7	▲ 0.9	12.4	▲ 8.0	▲ 20.4
改善予測(今回)	▲ 3.6	▲ 3.5	6.2	▲ 2.7	2.6
改善予測(R4.12)	▲ 18.6	▲ 24.3	▲ 15.8	▲ 8.4	▲ 6.5
改善予測(R4.9)	1.8	1.9	▲ 3.5	7.3	11.0



2) 売上高

(単位: DI)

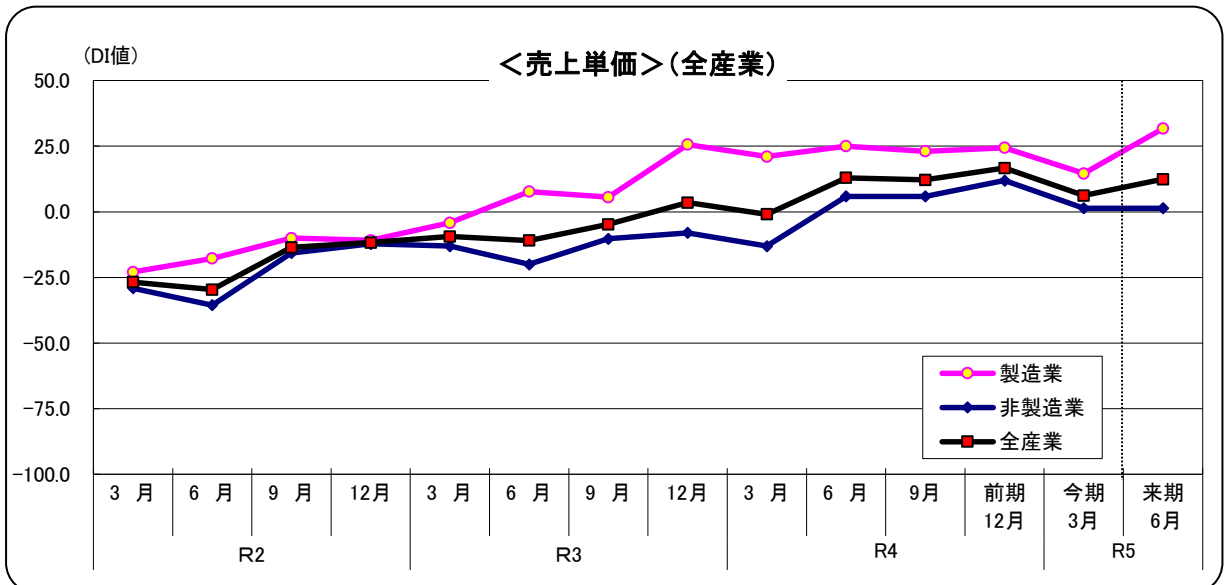
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 7.4	0.0	▲ 14.3	▲ 7.3	▲ 23.8	0.0	37.5	11.1	2.8	▲ 0.9
今期	▲ 11.1	▲ 14.3	0.0	▲ 9.8	0.0	▲ 28.6	25.0	18.9	9.6	2.6
前期	23.1	0.0	12.5	17.1	17.6	0.0	20.0	29.4	22.7	20.6



(3) 売上単価

(単位: DI)

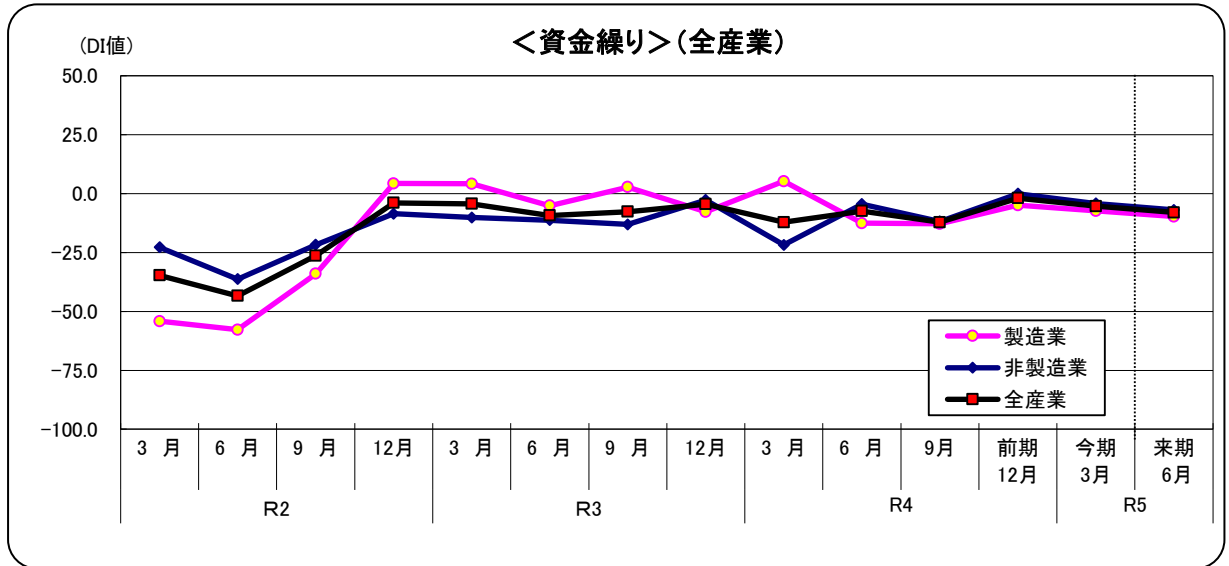
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	29.6	42.9	28.6	31.7	▲ 23.8	0.0	37.5	8.3	1.4	12.4
今期	7.4	28.6	28.6	14.6	▲ 9.5	28.6	25.0	▲ 2.8	1.4	6.2
前期	15.4	57.1	25.0	24.4	11.8	0.0	20.0	11.4	11.9	16.7



(4) 資金繰り

(単位:DI)

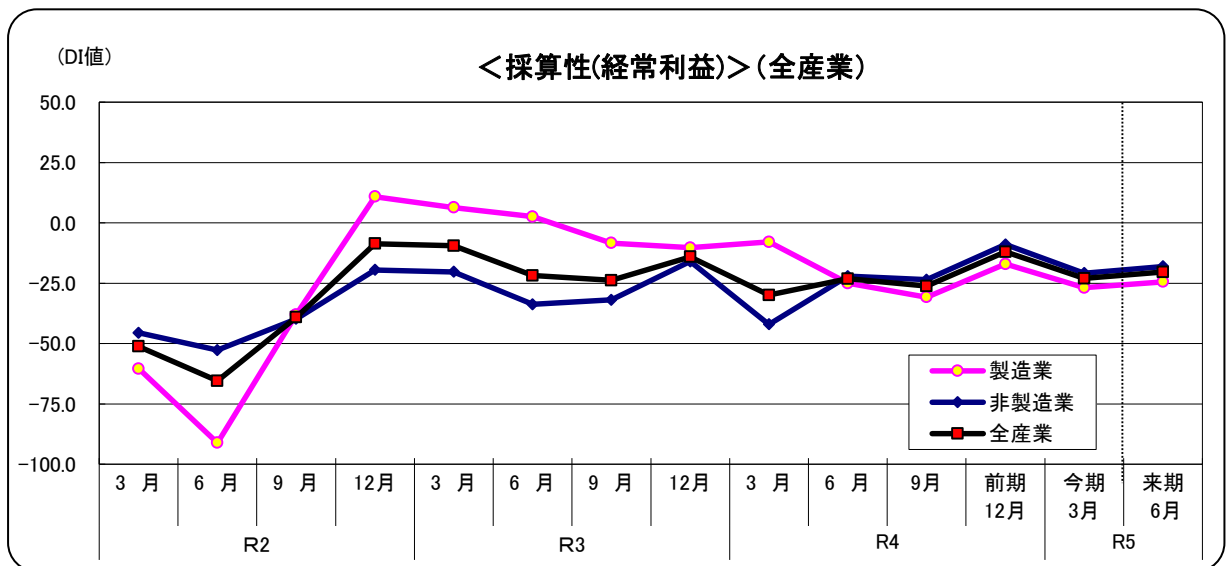
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 3.7	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 9.8	▲ 14.3	▲ 42.9	0.0	2.8	▲ 6.9	▲ 8.0
今期	▲ 3.7	▲ 28.6	0.0	▲ 7.3	4.8	0.0	0.0	▲ 11.1	▲ 4.2	▲ 5.3
前期	3.8	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 4.9	0.0	▲ 20.0	▲ 10.0	5.9	0.0	▲ 1.9



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 14.8	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 24.4	▲ 33.3	▲ 28.6	0.0	▲ 11.1	▲ 18.1	▲ 20.4
今期	▲ 14.8	▲ 71.4	▲ 28.6	▲ 26.8	▲ 23.8	▲ 28.6	▲ 37.5	▲ 13.9	▲ 20.8	▲ 23.0
前期	▲ 3.8	▲ 28.6	▲ 50.0	▲ 17.1	▲ 17.6	▲ 40.0	20.0	▲ 8.6	▲ 9.0	▲ 12.0



今期(第4四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=112)

エネルギーコストの増加	68社	60.7%	60.7%
経費の増加	65社	58.0%	58.0%
仕入単価の上昇	57社	50.9%	50.9%
原材料の高騰	55社	49.1%	49.1%
従業員の確保難	53社	47.3%	47.3%
需要の停滞、売上の減少	20社	17.9%	17.9%
販売単価の低下・上昇難	13社	11.6%	11.6%
後継者の育成・確保	10社	8.9%	8.9%
競争の激化	8社	7.1%	7.1%
新型コロナウイルスによる売上減少	6社	5.4%	5.4%
その他	0社	0.0%	0.0%

	鉄工・機械 (n=27)	繊維 (n=7)	その他製造 (n=6)	建設業 (n=21)	小売業 (n=7)	卸売業 (n=8)	サービス業 (n=36)
エネルギーコストの増加	77.8%	85.7%	83.3%	33.3%	57.1%	62.5%	55.6%
経費の増加	40.7%	71.4%	33.3%	52.4%	85.7%	100.0%	61.1%
仕入単価の上昇	44.4%	71.4%	100.0%	57.1%	42.9%	75.0%	36.1%
原材料の高騰	44.4%	71.4%	83.3%	38.1%	57.1%	50.0%	47.2%
従業員の確保難	70.4%	57.1%	33.3%	47.6%	14.3%	12.5%	44.4%
需要の停滞、売上の減少	14.8%	14.3%		23.8%	62.5%	25.0%	8.3%
販売単価の低下・上昇難	7.4%	28.6%	16.7%	4.8%	57.1%	12.5%	5.6%
後継者の育成・確保	7.4%	14.3%	16.7%	23.8%			2.8%
競争の激化	7.4%			4.8%	14.3%	25.0%	5.6%
新型コロナウイルスによる売上減少		28.6%					11.1%
その他							

Q具体的な問題点や対応策

固定費、変動費ともに上昇中のため顧客との価格交渉が必須(鉄工・機械)
原材料高騰・電力費値上等で収益悪化の為価格改定申入れ中(鉄工・機械)
販売単価の改定等(鉄工・機械)
電力会社の値上げによる影響。実習制度の維持が困難(鉄工・機械)
第一にあがってくるのは従業員確保がままならない。正直職業安定所の紹介はここ数年ない為、安定所での募集要領変更に伴い行ってない。代わりに人材派遣社員にて補填をしている状況。また紹介派遣と費用が掛かるが成功報酬となる為、先方も多くの方を白山市などから紹介して頂いている。また昨年末に実習生面接を普通に行える状況になったので、今後は実習生を受け入れられる状況になってくるのではと思っている(鉄工・機械)
4月からのバス生産再開に向け作業員の増加(鉄工・機械)
働き方改革による残業制限で受注増に対応厳しい(鉄工・機械)
生産性の向上と無駄の削減を続ける。人手不足にはロボットの活用と求人方法の再検討を行う(鉄工・機械)
対応策はわからない(鉄工・機械)
電力料金の高騰に対する対応が無い。値上げにも限界有り(繊維)

電気料金の高騰は完全に自助努力を越えている（繊維）
労働生産性をあげる為の方法と資金（繊維）
売上の確保、付加価値の高い物を作り、あらゆる部品のコストダウン、徐々に値上げする（繊維）
採用活動の強化、人材確保の強化を図っている（建設業）
人員については、知り合いへの声かけ、職安での募集、工事に関して原価管理強化（建設業）
固定費(給与賃金UP)が増加しているが、社員のモチベーションを高める為に抑える事が出来ない (建設業)
特に電気料金が問題だと考える（建設業）
原材料を含む全ての値上げが収益圧迫予想（建設業）
経費上昇の中での単価の上昇が見込めず、価格反映が困難である（小売業）
人材育成（小売業）
同業者との競争の中で、価格の値上げ交渉は困難（卸売業）
人手不足は常に問題となっている。設備導入を検討している（卸売業）
外注工場が減少の一途にある（卸売業）
戦争（卸売業）
人の確保が困難。2024 働き方改革（運輸）
ドライバー不足は当社だけでなく、業界の問題（運輸）
価格上昇をさせるタイミングが難しい（飲食業・宿泊）
仕入単価の上昇は在庫圧縮。エネルギーコストは一人ひとりの節電・節水等の確認 (飲食業・宿泊)
対応策ないだろうか（飲食業・宿泊）
従業員の賃金を上げるのが難しい（その他サービス業）
求人広告を出しているが、その他の対策はしていない（その他サービス業）
事業継承（その他サービス業）

■ その他、意見・要望

①これから労務費を転嫁して行きたい（鉄工・機械）
②電気料金を何とかしてほしい（繊維）
③人員の確保が難しくなっている（繊維）
④5月、7月の融資返済の影響で、今後の景気がどうなるのか心配（建設業）
⑤売上の改善がみられても、累積損失の補填改善には及ばないので、借り換え条件についての緩和が求められる（小売業）
⑥価格値上げ受入れに非協力的な大手企業の公開徹底と強力な指導をお願いしたい（卸売業）
⑦ビジネスマッチング交流会（小売業）
⑧価格(点数)は国が決められているので、全く価格転嫁できていない（その他サービス業）

会議所コメント：

①②③④⑤⑦

本所では、金融あっせんや創業支援、また事業所の課題解決のニーズに合わせた個別相談を実施しています。また、会報やHP・SNSを活用して補助金・助成金等の情報提供を行っています。その他、調査研究、経営に関する最新情報のご提供やセミナー・検定試験などによるスキルアップ、青年部活動や女性会活動などヒューマンネットワークづくりをお手伝いします。

また、行政の関連部署や石川県産業創出支援機構（ISICO）等と連携を図り、会員事業所の要望にお応えすべく対応して参ります。

②⑤⑥⑧

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

【メールマガジン配信中！】

会員事業所の皆様に、当所の講習会や補助金・助成金情報のほか、融資制度や各種イベント情報などをタイムリーにお届けするメールマガジンを配信しています。ご購入は無料ですので、ぜひご登録ください。

※こちらのQRコードからご登録ください。

